

## 報告書抄録

ふりがな	おかいせき							
書名	岡遺跡							
シリーズ名	県道六地蔵草津線補助道路整備事業関係遺跡発掘調査報告書							
編者名	瀬口眞司・辻川哲朗							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課 / 公益財団法人滋賀県文化財保護協会							
所在地	滋賀県大津市京町4丁目1番1号 / 滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2							
発行年月日	平成28年（2016年）3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
おかいせき 岡遺跡	りつとうしおか 栗東市岡・ めかわちきき 目川地先	25208	052	35°00'45"	135°59'05"	20110418 ～ 20111101  20130806 ～ 20131018	2,270㎡   900㎡	県道六地蔵 草津線補助 道路整備事業 (目川工区)
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
岡遺跡	古墳・ 集落跡	古墳時代中期初頭		古墳		円筒埴輪・ 形象埴輪		
		古墳時代後期		古墳		須恵器		
		7世紀後半 ～10世紀後半		竪穴住居・掘立柱建物・ 土坑・ピット・溝		須恵器・土師器・ 灰釉陶器・銭貨		7世紀後半～ 8世紀初頭、 10世紀前半～ 10世紀後半を 中心とする
		12世紀後半～ 14世紀		溝		黒色土器		
要約	<p>栗太郡衙推定地である岡遺跡の調査である。今回の調査区は群衙推定域の中心部ではなく、周縁部に相当し、また調査区も狭小だったため、明確な形での郡衙関連施設は検出しなかったが、以下のよう成果をあげた。</p> <p>①古墳時代中期初頭の円筒埴輪・形象埴輪を伴う古墳（方墳と推定される）と古墳時代後期の古墳を部分的に検出した。</p> <p>②7世紀後半～8世紀初頭の竪穴住居やこの頃に位置づけられる可能性のある掘立柱建物、土坑・ピット・溝を検出し、7世紀後半の須恵器類の良好な一括資料も出土した。</p> <p>③10世紀前半～10世紀後半を中心とする時期の回転台土師器坏などがまとまって出土した土器埋納土坑群を検出した。</p> <p>なお、11世紀以降の活動痕跡は一部を除いてほとんど目立たず、特に15世紀より後の遺構・遺物は激減していることから、以降は集落が廃絶し、水田化したことが想定される。</p>							